



知ってますか！「御名御璽」事件

—日本全土で「ヒロヒト踏み踏みの

踏み絵あそび共同行動」が行われた

① はじめはほんの思いつき

最近、街ではますます「ピラ」の受取りが
わるい。金をかけても、イマイイラスト入
にしても、さっぱり。

やっと受けとらせても、10メートル行かぬ
うち道端へボイカ、クズ箱行きがヘビラの運
命。奇特な人が家へ持ち帰ってくれても、
最後はゴミになってやはり捨てられる—

そんならもう、始めからあつさり捨てても
らおうやないか、そして…というのがそもそ
もの発端だった。

勿論、ゴミになって捨てられるのに最も適
わしいのは「アノヒト」。誰かも云ったが今
ばくらが何をやらかしても、体制はすぐ取込
んでしまう。が、こと天皇に関しては例外の
特別。マル天に触れるのは大の「危」門で
「危」印、「危」奇怪々。—とすれば、「アノヒ

トをゴミにする」なんて思いつきは、果して
一体どんなことになるか。

これはひょっとしたらひょっとして、ぼく
やあんだや誰も彼もに、いろんな意味での
「踏み絵」であるかも、と……。

▼註—へ思いつき」がどのように、へやり
かへり中で普及するか、9〜10頁 (註)

①—⑥参照のこと。

② 「イオム通信」読者への小包と手紙

「これは「踏み絵のオフダ」です」

冠省。とつぜん失礼します。この手紙と同
時に小包をお届けしました。(オット、小包

▼9頁 (註) ② (参照のこと)

カ一信



84年11月23日

ちやうびり
オモシロ
いたずら
あそび
への招待!

▼Xデーの前座トレーニ
ングのつもりで、ちやうび
りオモシロイにせずら
あそびの全国共同行動
(もしあそびが参加して下さ
ら—というのですが)を企

爆弾ではありません）が、開封の際、必ず次の順序をお読み下さい。

1、封のまき神棚（なければ下足棚でも）にまず捧げます。

2、お神酒を供え（すぐお下がりを心ゆくまで頂いて）アルコールで充分全身を清めて下さい。その上で

3、一拝二拍手、次の祝詞をおごそかに――

「おんあはきやべえ まかほだら

ヒロヒト踏み踏み ヤタガリアー

「これやこのビラの命は短かければ

「踏み絵」となりて 苦のむすまで

4、小包をとり、踊りながら開封願います。

「自分が信者か そうじゃないか

それが判らん 天皇教

昭がない和の 六十年

年のはじめの 試しとて

踏み絵ふむこそ目出たけれ

ハイ。これで一見ビラと見まがう紙切れは

「ヤタガリア天皇教・踏み絵のオフダ」となりました。ゆめゆめビラではありません。

＊ ＊ ＊

処でもともこのオフダ、正月用パロディ遊びのつもり。その正月にナンデマル天が出てくるかというと、ご承知の元旦の新聞などには『宮内庁貸下げの写真が必ず現われて、すっかり忘れてた（象徴）サンを国民に思い出させる』という仕組み。で、それに応えて

「ぼくもついつい「謹賀新年、宸護留サン」

となったわけ。（註―宸護留の意味は広

辞苑にあり。イワク「天子のはかりごと」）

＊ ＊ ＊

それにしてもビラというものの儚ない運命

に開き直って、では捨ててもらいましょ、と

は云ったものの、それが一巻の終りではあま

りにも芸がない。何とか良い工夫がないもの

かと、思案投げ首の鉢巻で「苦しい時ノ神頼

ミ」―とたんに霊能あらわれて、（踏み絵の

オフダ）誕生となった次第。

★

★ だからこのオフダ、何が何でもどうして

も、どしどし捨ててもらわんと、オフダの役

が動まらんです。

★ オフダが踏み絵である以上、天皇教の被

疑信者全員（もちろんあなたも）のがれられ

ません）ぜひとも踏んでもらわねば！

★ それにはどうしてもオフダの方から、み

んなの足許へ出かけてゆき、どさどと道にち

らばらという寸法。―とくに正月で浮かれ出

る〇〇神宮や××広場など、落とされ落ちて

ちらばって踏み絵ちゃんちゃこになるばかり。

★ とすれば正月にやることは、心うきうき

初散歩、行くさきさきこのかしこで処かま

わす捨てただけ、10枚100枚とりまじめ、ど

ささと捨ててけちらかし、あとは？野となれ

カミとぬれ。すべてはテンのおぼしめし、そ

れが楽哉、ああ楽哉……。

―以上の次第でみなさんへのオフダのおす

そわけです。（一口千円の出資者へは一萬枚

画しました。（あき）

▼「一体どうなることか」とい

かれてもいまは内緒。参加

申込み。さらにヤ三信におし

せします。（あき）

勿論法律にふれたります

ようなマヤバイことにな

スリル？満更？「エー、

「あまがけだ」といふのが

ありますね。ごまかく、何でも

エエワ、位のもじり。現物を

みて食べたくなければ捨て

らされてしまふです。

▼参加者は一口千円。

▼申込みは却せしむ！

できたら今月中、あそくも

は月上旬。振替口座、おめ

ー三三七三七番ウリヤ

ハル。NVOA代金おま

す」と書いて下さい。

▼申込みは「ヤ三信」

で説明を、12月10日曜におめ

りし、更に12月20日までに

「NVOA」をクリスマ

スイズに内にあつようざり

ます。（あき）

▼読後破棄して下さい。

共同行動の呼びかけから「踏み絵ビラ」配布まで

思いつきの展開

① 「はじめはほんの思いつきとはなったが、思いつきは全く何もないところから出てくるものではない。

ビラを通行者に踏ませるというそもそもの発想は、千子さんの経験から出た示唆にもとづく。それは――

もう四・五年も手このこと、南無阿彌陀仏が原発建設を画策している和歌山県日高の、反対派住民から、「現地調査の機材を今日明日にも原発が搬入する」というしらせがはいった。緊急のことで大西がうかつけたのは女二人だけだったが、その代り「南無阿彌陀仏」と称名を大きく墨書した半紙大のビラを数枚用意して、聖域輸入トラックの進入路に、現地の二・三のひとと共に坐り込んだ。その半紙ビラを前方路面にずらりとならべて、「やあ、この称名を踏んでやってきてみい」ということで、大いにみんなの氣勢があがった。ということがあったのであつた。

つまりその半紙に手がきのビラは、「南無阿彌陀仏」がしるされていることで、別の意味が加わり、へ紙のバリケードになつたのだつた。

② それは82年「教員ヒヤリング阻止闘争」で「もんぐろ温教南無阿彌陀仏」と書いた白衣をきた十数人が、路上にねころぶ――

という、自分と称名と

を一体化することで行動

の意味に別のことを加える――

「やり方」などに応用されたか

今回のへ踏み絵ビラは、はじめの発想から次のように順次変化した。

① 年末又は年初の行動として、「南無阿彌陀仏」に代る「ロヒト入」**踏み絵**とば路面において、それを踏む・踏ませるということでの、反天アピールをやってみよう……。

② 史実ではなく、「**踏み絵**」の複製にすると、量的にふえ、世の目にも立つ。

③ **「ビラ」**で印刷すると、字模を踏む印象が弱められるが、ビル等から数千枚まくことで、或はマスコミまががき立て、その伝聞によつて、行動の意味が拡大する。

④ 市内の盛り場や神社などの雑沓にまぎれ、大量のビラを落して歩く。多くの人たちに思わずビラを踏ませ、拾わせて話題をつくる。

⑤ ぼく、あるいは二・三の単独行動でなく、多数をさそいビラの製作資金もあつめて、各地一せいで同時多発的へビラ落し一せいで**共同行動**ができたなら、おもしろい。――しかし――

⑥ 組織もなく、実行をもつくらず、どうしてへ共同行動へか



つくれるかー かう出てきたへやり方^が、8頁下欄のへち
とどおもしろ。いたずらあそびへの招待！「ヤニ信」である。

(いたずらあそびと名付けて「いたずか思わせぶりに持つ
てまわって」好奇心をそそるようにヤニ信でも正体を明かさず
しかる冗談のかしたへ呼びかけ^たが、へやり方^はへち^び
のように気象にあもしろくという趣旨にしても、もちろんへく
は、あそびや冗談で取組んだわけではない)

③ この「ヤニ信」は、向井孝の個人紙「イオム通信」11月23
日発行號号のフロクとして同封され、約五百の読者に送られた。
(イオム読者と知己のみによびかけ対象を限定したわけであ)

④ この「ヤニ信」の反響は、11月末にようやく10人、12月6
く7日から急にふえたが、それでも40人ほど、予定の80人以上
に達しなかった。そこでメ切りを延長し、「ヤニ信」(12頁下
欄参照)を12月10日、ヤニ信の趣旨同様の内容で、再度イオ
ム読者五百人に送って、参加をよびかけた。

⑤ ヤニ信で改めて通知したメ切りは12月19日現在での「NVD
A」に申込者は6人(うち二人はイオム読者でない人だった。)
(なおそのご申込はふえて最終のメ切り12月24日までは86名
ーそのごも四、五名きだが、これは打ち切ったことになった)

「ヤニ信」は、6名のみの限定で、12月21日
発行した。(13頁下欄参照)

そのヤニ信に、はじめて「踏み絵ビラ」現物一枚(表裏に
斜線を引き、赤で「見本」と書き入れ、使用せず焼却するよう
付記)を同封し、NVD Aの正体を明らかにした。(ヤニ信内
容はヤニ信或はイオム通信號号と重複するので、ここでは重
複しない部分のみ抄出したから、詳しくはそれを参照のこと)

なお、この6人のみに送ったビラの見本のうち一枚を大阪府
警が12月26日入手。27日朝捜査令状をとって、その日の正午
向井宅外四カ所のガサ入れとなった(後述参照)のである。

⑥ 12月23日、25日、踏み絵ビラの荷造り包装のなかに、「ヤ
ニ信」(12頁下欄参照)を同封し、約五百の読者に送られた。
の申込者に対し(五百、九千枚)の送付手配を完了。

⑦ 以上のほか、共同行動の拡大、一般化、宣伝の方法として
「イオム通信 28号」を、踏み絵の趣旨説明とその送付案内と
し、ビラ20枚以下を同封する「お宝玉特別号」として、12月
26日夜から27日朝にかけて、一せいで発送(従って86名の申込者も重複)
した。(イオム通信 28号は12頁下欄参照)

(但し、例えば、獄中者など、検閲等によって年末迄に情報か漏
れる見込みは、元且以降到着するよう、投函を保留、12月31日
発送の予定とした。これらは、27日のガサで発見され、押収さ
れたが、再発行して、月末、当初の予定通り送付した。)

(イオム読者一般はこの号を受取ってはじめて「あ
の、呼びかけがこれやったのか」と突然知ること
になるわけだ)



上段へー



自由連合と共同行動

⑧ (ここ)でイオム通信についてちよつと説明しておく。イオム通信は、向井君が(主としてそのときどきの周辺に生起する「運動」に関連した問題について)個人的な感想や意見を内容として、日一回程度発行している個人通信で、一九六五年創刊、現在月号。読者は全日本各地に散在し、毎月500ほど印刷、500ほどを付している。今回の「共同行動」は、このイオム通信の発行と読者を土台にして、はじめて実現できたのだといえる。

⑨ ところで、「共同行動」というとき、たとえば「イオム通信」をよんでいるというだけの、それ以上の何でもない関係の面で、「全国各地一せいの同時の行動」を提起するものは、ふつう考えられない。

共同行動を可能とする条件は、まず組織である。その組織内での合意、意を統一が何よりも必須条件である。

つまりそのような「運動組織体」が、まずつくられており、さらに全国で日常活動をしている下部の組織、成員があつてこそこのこととなる。(ここ)もなくば、実行委員会をつくることだが、これはどうも手堅るにというわけにいかない)

⑩ にもかゝらず、イオム通信のいわば「一対交通だけの読者名簿」が、そのような全口的な組織に匹敵し、代りえたというのには、「共同行動」の要件である組織的統一と全く対蹠的な「自由連合」を、その前提においていたかうである。

つまり「統一」が、その当初から同志的「盟約」によつて規律と団結をつくるものとすれば、「自由連合」は、何の拘束も

ちやうど「自由連合」
いまだ「自由連合」

⑪ NVROA 注文 パラパラと読んでいく。この二、三、どつとあつて、いま四十数人。目標百人にはまだですが大阪・東京をのぞき大抵、全国、ゆかり所にひびくものと思つていきます。

⑫ NVROA? かつ、もう大分お集りのように Nonviolent Direct Action つまり非暴力直接行動の略称。ふたつに、ふたつにも全国一せいの共同行動に参加して頂く。その参加行動は NVROA というわけです。

⑬ 何となく、このことをして頂くわけでありません。ある日の「ダン」日常そのまゝの動きを引用して下さればいいのです。B ちやうど、数年前からともかく、いま現在のその中では法律に触れたら、茶をされるおうなことはありませんが、具体的に誰かに被害をかけるというものでもありません。

⑭ それで、何か人同様に、かゝる、気にならず、誰かいないところ、誰もいないときを、12月31日午後10時から、1月3日午後10時までの「共同行動期間」内で選んで下さればいいのです。

⑮ いやむしろ、そんなやり方のほうが、「これ」(以後「これ」と呼ぶ)に適していると思ひます。D 「これ」はひとりで、10人でも、100人でも、E 10人、これには、たとへば「海し物」をして、気がつかないのと同じようなものです。

⑯ しかし、やつぱり、なぜか、内心ヒヤヒヤ、ビクビク、すこしはためらつたりして、それから「やつぱり」という気分にもなること、絶対保証付!! ウォン・ホントー!!

⑰ あつたのまわりのお友達に、「これ」を、ぜひ、ひろげ、すすめて下さいませんか。「おまかせ定食」みたいなことで、ちよつと信用できる、ところですが、一ロケ由の出資。タカランジは

へ統一の立場へからみれば、それは何ら確認をとるものでなく、それゆゑ之程極端であやふやで、一方的思ひ込みですべてを任せてしまふ底ぬけの皇天主義、或は革命的警戒心の放棄となるにちがいない。だがそのへ信頼を思想としへやり方へとすることによつて、イオムの読者名前は、不可視のへ**自申連合組織**ともいふべき、具体的力となり、共同行動を具現するものとなる。



宣战戦争の意味



そのように空土自衛を充足し、あえて、面白く満足をもたうすものにするには、行動者個々のへ自由連合へのへ相協力と、もうひとつへ富強競争が、どうしても必要である。

⑫ へ宣伝戦争へを、簡単にいえば一行動の終了後、再びその
経済と結果について、フラッシュバック的に顯示することである。
古い方を覆えろと一その行動を参加者個人の主体的な意志
表現 だけに終らせるのではなく、間接的か三者へも認知させる

三信は、12月20日頃、当を発送。それで「これ」の詳細を
 しらせします。ひきつゞき、最終便は、多分12月25日頃、12月
 31日頃には着のよう送ります。

▼この件、ご反へへの参加勧誘以外は、一切うやなどてひろがらぬよう、おねがいします。一応、今回も(無)です。

これをいたす遊びのつもりであやみすて下さい。
12月の日夜記。10日(元旦)

1
5
6
·
略
·
·
·

为三信

19月
21日
発行

19 佐理はこの NVOA 中のみ 61 名（北海道 青森宮城
 福島茨城千葉東京神奈川静岡長野愛知岐阜三重奈良
 大阪兵庫奈良山口島根福岡熊本大分鹿児島）一人か 10 人
 にオマをまくと、24 都道府県約 16 百カ所に 2 階 3 階の刑
 場（踏み免の場が出現する）で、この役田 100 人ききんて 20 秒す
 のぶたき送り場 10 人ききんて 20 秒す（場にはひろききんて）

8.

③ 27日頃到着するよう小包を送ります。50枚で足りぬ方は
折返し所需枚数を由出て下さい。(細枚不用の方もその枚数を)
④ 小包の中は「共同行動申し合せ事項」を入れてあります。
お楽しみとしがないように―― 略。

から五百枚まで。その他の方へは二〇枚以下のお年玉)来る一月一日は(全国一せい、踏み絵のオフダ落し共同行動日)、どうかよろしくお願い申し上げます。

(追伸)▼共同行動は一日正午までが一応本命。おそくても3日正午までに手許のオフダはすべて(捨て)て下さい。▼年内先駆けの違反は絶対ダメです。

では、楽しい楽しい↑お正月をー

▼註、11頁註⑦ 12頁註⑧⑨⑩

13頁註⑪⑫ 14頁註⑬⑭⑮⑯
通信についで「自由連合と共同行動」
「宣伝戦争の真意味」参照のこと。

③ ガサ入れへギョツ名ギョ藍事件

で、「59年」のぼくの師走は大車輪。約百コの小包、五百以上の封書の手をやって発送し終って、さあ一服ノと思ったとたんのー12月27日午後0時20分、

さすがの「大逆不敬」君、どこでクンクン嗅ぎつけたか、向井孝宅やWRI事務所などの五カ所へご来臨。ナント容疑が驚くなかれ「御名御璽偽造」やて。ウワァー。

ーそんな法律あったんかいナ。それがリッパにあるんやね。不敬罪が名前をかくして生きているー刑法一六四条。(本物のようになり

せかけて使う目的で天皇や日本国の印、または天皇の名を偽造した者は二年以上の懲役)

それでー(借しくもちょっと手おくれやっただけ)残ったオフダ三千枚、根こそぎ見付けたとばかり押収してくれはったのである。

ガサの指揮者のハセカッチャン(長谷勝一)が崎センター爆破でI君らは無罪になったが、このデッチあげ逮捕張本人)ー鬼の首でも取ったように、「この刑重いぞ、15年ノ」とのたまわった。

けど、どう逆立ちしてみてもこのオフダが「本物のように見せかけた」であるワケがない。ムリヤリこじつけたその魂胆は、一枚たりとも撤かせまいとする、昔の予防検束と同じもの。やっぱりマル天は「危門」やった。

しかもつい本音をあらわして、(踏み絵)を踏んだ(第一号)が、ナント大逆不敬サンとは世の中ほんまに面白い。そのうえはつきり残した足跡が(御名御璽)とては、おかげで遊びもいよいよ「ほんもの」や。

チャンス到来。ガサ入れありがとう。早速はじまった「踏み絵第一号大逆不敬サマ謝恩年末年始御名御璽大セール」。まず御名御璽倶楽部を結成して、日本中へキャンペーン。(抗議)〈準報告〉ニュース発行と、元日も印刷機が大車輪ー (10頁上段へ)

▼註 15頁、24頁註⑭⑮⑯の「事前漏洩と家宅捜索」「ガサから共働行脚まで」を参照のこと

(13頁上段よりつづく)

……このへん社会的表現へへと転換することである。もつとあつさり言えば(踏み絵びら)を(社会的事件)とすることで、マスコミを使うこと。つまり共同行動はマスコミの報道によって内接の領域へも形が見えるものとし、そのひろがりと波及をつくり出すのである。

とすれば宣伝戦争への視野をあるそかにした共同行動は、達成した成果の半ばを放棄したと云々ねばならない。

⑬ さて今回の(踏み絵)びら共同行動が予定した宣伝の対策は⑭朝日等全国紙・テレビ各局、共同通信 ⑮週刊誌、週刊青年刊機紙月刊誌・運動画報ミューコミ紙誌 ⑯軍艦から抄出した有名文化人・知性・イオム読者に、速報をつくり数回送付し、各紙誌でのへとり上げを依頼する外、万が一マスコミが黙殺する場合の

ための「社会タイムス」と特約、資料等を優先提供する代り、「全経通」を記事で掲載してもらうことになっていた。

(社タイ記事が本パンフに類出するのはこのせいである)

(次頁上段へ)ー

● 事前漏洩と

● ガサ捜索について



⑭ ところで「宣伝戦争」というときの「社会的事件化」には、「ガサ入れ」はもつてこの出来事、何よりのチャンスと云わねばならない。

その意味では、今回の踏み絵ビラについて「元旦の共同行動でパツと権力に知られたのち、多分、早くて三日、おそくて十日ごろまでに、ガサはくるやう？」といった予測をしなかつた」と云えばウソになるだろう。むしろ内心では期待？していたかもしれない。

が、まさか年内、まだ何もしていないのは27日、しかもガサの名目が「刑法164条 御名御璽偽造罪容疑」とは、やはり「悪い」ものなかつた。(それだけに「悪い」ものなかつたというところ、結果、軍部まで大阪府警は決定目的を敗北の判決をうけるわけだが) ⑮ この予想以上に早くきたガサの原因「大阪府警は一体どうしてへい踏み絵ビラの情報をかぎつけたか」については3月5日付大阪地裁の「準抗告決定」が、次のように明らかにしている。

「これらを本件についてみると、捜査当局は、本件ビラに見本と手書きした「見本ビラ」を入手し、これから本件ビラの作成、存在を疑い、右見本ビラの宝真コピー(奥物大)を

疎明資料として、本件捜査差押令状の発布を申請したものであるところ……」

そして右の「コ」本件ビラに見本と手書きした見本ビラと「11頁の註⑤」にかいたごとく、特定の67人(従つて67枚のみに限られて發送していることから、そのうちの一枚を大阪府警が入手したことは間違いない)の一枚の提供者が67人の中の一人であることも、類推してほゞ妥当の如だろう。

⑯ 類推をもうすこし進めると、「捜査令状」に記入の発布日は2月27日。ガサが正午に来たことから逆算して、令状受領はその日午前9時の南戸早々か、裁判官宅へ出むいてとつてきたもの。とすると、府警が見本ビラを入手したのは、26日(或は25日おそく)にちがいない。

つまり21日發送の「ガサ三信」と同封見本ビラを、情報提供者は24日へ23日は日曜休日にうけとつてそれが幾つかの経路を通じて一二日後に大阪府警に渡ったというところだろう。

⑰ ①ということから、改めて67人の「共同行動(NVA)申入者」を見直してみると、65人はイオム読者だが、2月15日頃に申込みの川田同好があつた川崎市の別々の人だけが未知未聞の氏名だった。そこでこの人々に付き、アンケート形式(お名前、その印刷)での問合せを数回出したが、無回答というものが現在までの結果あるいは結論となる。

▼ それにしても公安部警備の情報あつたばかりかコマメである。イオム通信などは、どこから入手してみればよいものとしてかいてあるが、今回のように未定の何かを「噂」として「由」としてあるところなど、油断ならぬ。

⑮ さてこの「が」入れを時間的問題でいうと、一応發送予定のビラを全部出し終った一時間後、まさに同一愛の差でやってきたわけだ。

もし「オヤ三信」を一日早く出すことで、府警が一日早く情報を入手していたとしたら、全国共同行動のうち、イオム読者一級への「お年玉配布」令(11頁註の参照)の枚数では約10%七千枚ほどだが、「が」が押さえられ、件数とひろがりではかなり減少、ということになっただろう。

⑯ 今回の「事前漏洩」から引き出す「教訓」は――

① ビラを渡取ったそれ以外の人はその立場での教訓があるだろうから、これは当事者いわば仕掛人としてのほぐしだけに留まるものである。

② 教の事項が必要な場合、その設定は、できる文部的・限定的とし、その守秘についての部分を明確にすること。

③ その事務処理は、綿密細心厳格、完全を期すること。

④ 今回の場合、未知で経路の不明な申し込者は、折返し直接面合を要するほか、川崎市居住のイオム読者への面合などで身分を確認すべきだった。

⑤ その上で、情報洩れのケースを想定し、それへの心構え以上の対応策を考えておくこと。

⑥ 対応策をしっかりと立てることで、むしろ逆に「反撃」のイオムに転化する。・(意図せずしてはむしろ逆当に陥らせないでマスコミや権力を動かす事を大きくひろげることもできる)

⑦ 警戒心は、何よりも自分にむけること。(これの在り方、このことの逆の方についての手落ち、見落とし、油断に對し

してのへ自己点検をぬきにして、他者・外部のみに向ける警戒心は、かえって権力の衝中にはまるものだ。そして、スパイや情報洩れを警戒するあまりの、きびしい規約と策制・監視は、仲間のあいだに疑心暗鬼を生み、遂には不信不和・対立離反をつくり出し、それだけでなく行動規模の萎縮・変更となる。)

⑧ 自由連合による共同・協力行動は、根底にへ信頼を置くことなしでは成立しない。

共同行動における個の主体性は、「自分ひとりでは手が廻らず、何ほどのことも出来ない」ので、隣人に助けてもらう」という一助けられる自分の立場の認識と自覚から始まる。

つまり、自分のやれない部分に関しては、それを隣人に任せてやってもらう以上、「助けてくれる人の主体性に信頼を置く」以外にない。

だから勿論、「そのへ共同」が自分にとつて、期待通りは文通りでなかったときも、一切を共同者に任せている以上、当然のこととして受入れることになる。つまり「共同のなかで事故が起り、何らかのことが自分に波及したとしても、それを自分のこととして引受け、責任を共同者に転嫁しない」とことである。

行動が終ったのち、次の共同のために話し合い・総括とは、自己点検的に「次はどう愛を伝えようか」、であって、他への「謝及的な苦情や批判はしない」のが「共同行動」であ



共同行動報告

△年のはじめの試しとして △終り近づく
ヒロヒトを △松竹たてて門ごとに △踏み
踏みするこそ楽しけれ

④ △御名御璽△並びに△御真影△が
かくの如く、じゅうりんされたゾ

▼一日午後3時。日暮里駅と地下鉄の広い
スペース。水道橋上。小岩など。志村駅のみ
は掃路通ることあったが、一枚も残りを見
ず。日暮里では階段上からやったが、いろん
な人が拾いあげてみていて(私服がその中に
いるかもと)ちょっと気になるほど効果あり
すぎでした。

▼一日、駅周辺三百枚、中央通り百枚、神
社(護国神社など四カ所)百枚。通りはドサッ
とあった方がよかったみたいで数が不足。三
日の人出最高を待ちきれずやってしまった。
▼前後左右たしかめて、ここと思う時、車
のドアを開けてバツと放り出す。20回計二千
枚は捨てたな。どうなったかと引返すと、ヤ
ヤ白バイが二三百枚タバにして集めてるで
はないか。まさか一枚のこらず集める気では
ないだろうな。

▼天皇のしたことに較べれば、僕のやって
ることなど、なんとちやちなことでないか。
何をビビってるのか、と自分をシッターする。

で三たび横断歩道の人波の中で、オフダを
イザと取り出したのだが、そこは距離が短か
く、オッオという間に反対側。いまだノと思
った瞬間、まわりの人は散っていて、ビラは
まだ手にしたまま...

仲間うちでいかに天皇制を論じようが、こ
うして人ゴミの中に入ると、そんな自分を知
られることに極度に神経質になる自分がい
た。

これではイカンと、まず映画の入場券を買
う。もとの道に戻って、人の後ろに隠れるよ
うにして、夢中でオフダを落とす。ふり向きも
しないで一目散、映画館にかけこんだ。...二
時間後、外に出る。人々が何かをよけるよう
にして歩いている。さりげなく目をやると、
例のオフダが踏みつけられ、クチャクチャだ
った。...なるほどこういうことであつたのか。
▼次の日一応見に行きましたが、県庁前、
駅前は一枚もなく、わずかに残っていたのは

註

り、共同行動を成立させる(信頼)の意味であ
る。そしてそれが(信頼)をつくるものであり
また、へつくるやり方である。

このふたの意味で、もし当初に(信頼)をお
かひかつたならば、(全国一せい踏み絵共同行
動)は決して生れなかつたにちがいない。

とすれば、(註)の事前漏洩を結果としてど
う対処するか、すでに明らかとなるだろう。



へがサから、共同行動まで

②① さて、グリコ森永事件では後手後手の大阪
府警にしてはエライ早業まわし、戦前の予防検
束さながらに、踏み絵ビラを一枚たりとも世間
に出さず全部押収しを狙ったのだろうが、27
日正午15分(何井孝・戸田あり子らとは全くのト
バツリ)包及びウリ事務所へは号室の五カ所へ
一せい同時刻にやつてきたがサは、(一丁ほどのこ

▼生まれてはじめて、一人きりでのびっ子捨て行動。家を出る時、

五十枚づつ束にして、オーバーの
阿ボケットに入れて準備万全。
横浜製紙口でまず五十枚。なん
か胸がドキドキして、自然と足早
になる。次にホールで五十枚落
す。とうしろから「トリ、トリ」と
掃除のおじさんが目をむいてつ
かみそつにいらんぞでてはない
か。もう心臓が止まりそうになっ
た。知らん預して、その場を逃げ
るしかない。でもまあ、なんとか
五枚枚全部拾ってきましたヨ。

さんとこのうケイサツのおどかし
やな。さういふのはびよーとて
僕でもうしろのめもわからん
と思つて、自転車で、何事も同じ
道を行ったり来たりして、細い路
地をくねくねまがって、完全につ

八踏み絵Vピラ

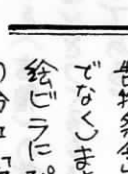
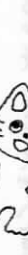
た、「御名御為度」事件(本紙
各町の行動後「タイボ」とい
を添われているが、いっこうにお
が断々と伝えられてきている。
「も遙し行動の教を同俱楽部
社タイ」

▼ 清荒神の参道で遊んでみました。道幅が広いのに枚数がすくなくしたので、あまりうまくいか

りして、
ともあれ毎年のいくつなボシヤ
リ正月を、いささか刺激とコーフ
ンを与えて下さりまして、楽しく
二日を迎えることができまし
た。(A)

● 本邦の主要な産業と輸出・輸入品

でした。もう一人はじめはまくつ
もり、三つを縛つて轡を出たんで
すけど、はじめに行つた神社は、
まるで人がおいて、えらく目立
つやうでそこは、次に行つた
神社は人出はおましたんやけど、
おまわりさんがきよさん出てま
してな。あとで聞いたら高校生が
ケンカしたとかでおまわりが出て
きてたらしかつたけど、そんな
知りまへんさかい、この三つの中
とでウロウロしてるんか聞いて
やん。どうやうにツッパ、どうま
きまへんだ。それで、獨りにつ
三箱に捨ててきたんです。



10

▼年の暮れは大変な雪で、正月をこえて迎えるか、岐阜であるか迷いましたが、ともかく一と出ようといつことにしたところ、これが大変で、途中雪に埋って後続の大車トラックに引っぱり出してもらう始末。とうとう年こしは岐阜で。

除夜の鐘をききながら、娘と二人で散歩(出)、真夜中といつのに人がうろうろ、風が全くなく足でくたはしても、何とも元気のいいことでしたが、オファタをしやりました。

なんの苦味はなしです。(B)

▼お父さん、とてお母さん、元旦の朝、すてきでした。初もうでの人ごみ、とあって、スポンと腰の間に入れ、スリから落す準備をしたところ、まだ誰もきていず、神主から「初詣にきて」ミミする奴あるか」とにらまれたのはアワテた。隣隣土から捨てたのは、ポケットに入れても入を確認。ちよつと落込んだいたのが、これやうして出てきました。

(追伸)踏んづけ用スリなど経験ないので、配りたての衝動に

られたそれに目立たぬところに隠すのももったいないみたいで

☆「大逆不敬(オオサカフケイ)警備部を、劇中じつつけのへ金状偽造(金)により告発する。オオシロを解さぬバカイヌめ」一苦行イザ後

▼名物の「ガッツ風」が吹かず、禁断のお正月で、私とい

映画館でバラバラ 翌日、現場で「クッククッ」 座ぶとんの下にしています

ましては、バサッと落せばおぼろけ、ガッツ風が、と想っていたのが、すっかり狂ってしまったので、私自身が「ガッツ風」に姿

身。「犯人?は現場に戻る」通り、翌日現場の見廻りでは、おもわず「クッククッ」。メインストリートは、ゴミ化したヒロビトがあちこちにちらばっていて、拾われ文捨てられ、知らん顔で踏んづける人ありで、こんなおもいこと、近頃なかつたです。

▼一日、天神さんでは、神楽を見上げる人ごみの中をちやうどいて、数度。二日は〇〇の押入前五十枚(私服や警備の目が多いです。ヤンビ)境内参拝。この池の中へ数十枚、うかべて一目散。

うしろめたさはなかつたが、あつたは終了して物足りない。収穫は、元旦の朝、思いついて急いで作った、ビラ入れ用バツク、首からぶら下げ、ジャンパーを着ると外からはわからない仕掛け。タイミングを計って、胸もとからつかみだし、足もとに落した。普通サイズの物が二三人入って丁度よいので、機用中です。

▼生半端なはじめての元朝詣りとも思ったのですが、マイナスイメージでひびいて、めいめいのせり。

これからオファタの旅まわりさせてあげます。それに、こちらは旧正月のお詣りというデモもあるし、気長にお花見や登山したさながらのも。

Pさん、報道関係(NHK、朝日、毎日、読売新聞)にお年玉袋に入れ、投げ込んだところですが、反応なしとか?「御名御事事件」ニュースもコピーして送った由。踏まれなきやソソソンのもったいなり屋さんより。(R)

▼正月はしんてんてんにも出られず、やつと知人を送って飛行場に行く機会があったので、見送りゲートからバーといきおいで投げてきました。ともちよつよおごさいました。

敬呈。敬呈。南無阿彌陀仏(R)

▼元旦早々、↓日〇王〇公園という順序でやりました。玉〇では場所が、直ちに大評判になり「ヒロビトさんからの年賀状おくれ」と云われて、どうしようもなくな。これ、やり方と違っています。いましがた、ガサのことも宣伝したので、勘弁して下さい。(R)



▼日時 三百十一時半ごろから
▼場所 家の近所 (A) 道の両側、バス停ベンチの上で。
(B) 家からバス停までの路地裏、公園など五カ所 (C) コミを燃やす灯油の中へ二十枚ほど。
(D) ヨリの家の猫がヒマツツにしていた一枚おみやげに。
▼一時間後、バス停、風もなく人が見たという形跡あまりなし。路地等はそれなりに散らばっていたが、またまた。

▼二時間後、バス停で荷物姿の女の人が一枚落ちて読んで、そつとバツクの中へ入れてはった。また、親子連れ母と子供はすつとみ、父親は取り上げて読んでから、もう一度ベンチに重ねておいて、バスに乗る。

下に置いたビラは、とうとうわけか一つもなく、十二時先にはバラバラに踏まれたりしてからはつてのが十枚ほど。
街の中はそのまま。路地の方は、泥にめり込んだり、木のウンコにくっついてたり、まずまず持たえてい。

二百枚、どれも跡形は消え

「タメ」。「こらいうものはちんと切
束を中へさすや、クッなべ」

年こそそばをたべて10時をまっつ
とにしやうと、妻がタクシーをとめ
て二人でのもころ心……。そばをたべ
終ると、時計は10時5分前。胸が高
鳴る。いよいよ、シヤッターの下
りた商店街を歩きながら、「後を
見て」「誰か来るや」と妻。店に
入れた手を戻して、小さな十字路を
曲がる。映画館があつた。映画はも
う終り、車が一台駐車している。ピ
クを走ぐりてつかみ、車の下へパ
ツ。あつけない。奥にあつけない。
この朝まであと一回。電車通りに出
る。十字路でオマワリさんが交差警
醒。電燈ボックスに「ラ」が射れし
ている。ラ・ボテルの案内が、ドマ
を叩け、パツと一投、オマワリサ
ンが見えろが、もう全無おそろしく
ない。歩道のスミにのみがつてある。
「こみの上がいよいよない。
カラビラとていくや」と車のア
ドバイス。車の列がゆっくり進む。
「運転手にみられるや」「平気でし
や。ゴミだもの」でもどびつて手が
動かず、電燈ボックスが又ある。「
後をみて」「パツきはオマワリの姿
にも平気だったの。一回どびると

徳病にやまもの。ドマを叩け、ま
たパツ。種のみが車道との間にずつ
と並んでいる。その中へパツをまっ
つ。……こうして私たちの共
同行動は終つたのです。が旅行か
ら帰つて、警察報知その他を読み
あひらきました。この苦境を知つ
ていたら果してやるべきができた
かどうか。警察のイヤがらせた。
不当だ。違法だとなつてみたこと
ろで、その不当や違法においげづ
くひとりになつていたのでは……
そこが又、遊樂の狙いだつたので
しよう。

M

▼正月早々の初仕事……親子三人
ち揃つて平和な初詣……。詣すがら考
へたのは「非暴力直接行動」の奥義と
リトマス紙にかかつている私自身の
「天皇」に対するイレーキ。……これは
遊びである。紙がたつた。とない
つつ、自分になにがせつつ、その
紙をきき足げにすることを許さず
一部の人たちがいて、にらみまきか
したに思つた。その人達とか
は近みにたつて明らかに何とないき
れる命令なの。自分の意でかたの
か。……志すではカッコよく許せな
いから、抵抗はすばらしいとみ。そ

つと人向うしい息をとかいいつつ
その奥の自身が伴なうて、幼い
て含んで終る。けの生活を続けてい
るというこは、流される……につな
がる。今年一年がくばるそのまっつ
けに……と思いきりよく揮殿前に木
トリと落し（サツとバラまき）かっ
た。……非暴力でスツキリさややかな元
日でありました。

Y

- 3 -



ワクワクドキドキの元日

▼何年ぶりかで思い立った九州
家族旅行。捨てるなら少し本州南の
さい果、国鉄最大の駅、鹿児島に
かうと、一日二日その待合室のイス
の上でカサに置いてきました。あと
はみません。野となれフミとな
れ……で帰路につきました。

K

▼今年はいよいよ正月でした。引日は
夜、皆祖師のお初天神に置いてきま
した。……銭箱の上などに分軒して
さす初詣のくぐりの眼にとまつたか
うか。待たれた文の用意されてい
たので、燃やしてしまつたかも。……
い銭箱の中に落ちて神宮が、オスソ
し見よ。と驚けばバンザイなのです。
あ、忘れたことがあります。私自身
がおバダを踏みつけるのをつい忘れ
てしまいました。

U

▼ぼくは毎朝二重橋周辺を走つて
います。……おみやげをわけてま
た。……反意は不明

H

▼一日風、好愛天宮後のある、赤
神宮でまきました。小舎の八坂神社
でも、その残りを同様にまいて、
にたつたころ、オバダの大おみ
回収されたよう。……ぼくは残つて
おせんでした。新年早々、早くお
せん。

MO

▼経過報告（事実）昨日付翌々
報告をよみ、一時間熱慮の結果、ほ
とぼりが定めるまでまつと決まし
た。その経過――

★ かくて好意心あう盛な私、お
もしろそう話にすべのつて千円送
金。いったい何やろ。幸しめやな。

★ おもしろあそび、オ三信でよ
うやく内容が判る。ビラのできばえ

にまず感心。それ以上にぼくの心を
抱えたのは、その入道びくまざれ
もないへ自由連合への直接行動へ
そのものだということ。ゆる、やら
ないを舍め、日時場所やりやすくて

相手の自由意志に任せ「あべたが主
役なんや、好きにやうにやつてや」と
喝びかけている。そして相手を信
頼してる。「31日PM10時以前は絶対

ばらまかない」この約束を守ってく
れることを私は信じてますよーの気
持がにじみ出てる。ウンこの信頼に
答えるアカン、という気分。

★ とはいっても、具体的計画を
知ってからや、準備が済んだこと
も覚えてる。いくつか不安材料が
頭を駆けめぐる。この時に向井さん
の友人が何人もいる。警察がビラを
見てこの人達を疑わないだろう。う
うらの母親はフツのくで、ちよつ

と外出するにも「目立つことしたら
ダメヨ」ときややく。市民運動にや
つと体を動かす楽しめをおぼえ、謝
罪が出はじめたぼくのグループに④
などという過激な同類を持込むのは
まずいところがある。ぼくはまたな
んせ新人やし。4月からある学校へ
いこうと定めてる。だから警察にた
にかりたくない。

★ しかしこれらの不安をふきと
ばし「いや、絶対まいてやるぞー」
と固心に決め、最も目立つところ
に「とはずしむがらねりあてに場所
は、①A川大橋寺、②B新南新
宿、③C公園、④D神社、
⑤Eデパート地下。ドキドキしな
がらその日を待っていた。

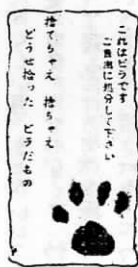
★ と、ところが31日晴定するこ
二通の封書が届いていて、あけてウ
ーンとつぶやきました。『緊急報
告に緊迫感みちみてる文面、必死に行
動を鼓吹するところ。…各自の判
断にあまがせする他ありません。そ
して僕が最も気になったのは、

「オ三信以降どこからかもれんし
か返えせん。オ三信はきやめて限
定した発送でしな」同時にぼ
くの頭を打ったのは「作戦通りやっ
たらあそこへハサが入る」という

と。日の前のおおくるすへの顔みだ
ら決行する気が失せてしまった。「エ
イイ延頭や」以上、気の抜けたビ
ールみじない報告でスンマセン。N

▼ 天皇の顔写真が大きく印刷され
たビラ。天皇をばかにしおろよく
た文句おかしなビラをくばる
ーと自転車に乗って「天皇反対」
自衛隊反対のデツケンお胸と背に
つけ、モモヒキの上に緑色のスカ
ーとをいいて石井町から徳島駅まで
キロ走った。

徳島で最も人通りの多い新町橋の
上にきたら、徳島ラジオ商事件のく
が署名おあつめていて、民青同盟も
反核署名おしていた。私も橋上でビ
ラおくばり、東新町商店街アーケ
ーの下では大勢の人々に天皇の顔写
真おみつけてもらった。私か天皇
の顔お徳島においてゆくと、道ゆく
人々が次々と天皇の顔おみつけて
いった。...



註

(18頁下段左端註②②) つづく
偽造」これで早速マスコミへ
アピールする徳島がぴしっとき
まった。

②③ オニ、そもそもへ踏み絵あ
そびなどイタズラめかして
呼びかけた理由の一つには、ま
るで事件にも何にもならなかつ
たときは、ほんまごく一部仲間
うちの「自慰的なアソビ」と去
われてしまうかも...ということ
もあつてのこと。すくなくとも
へ踏み絵なんていうてもナン
センス。日の丸燃やすほどのこ
とにもならない。

ところがガサのおかげーしか
も「御名御聖偽造罪」。(用い
わくタイホは必至。ビラまい
つがまったくもへ行使で同罪。
数カ月は拘留されて保釈金は一
人まあ百五十万円。スリル満
ズクゾクするほどのオモシロサ
に、事態は一変ーということに
なった。これぞ遊びの真骨頂。

▼(公開略)……四日の朝、初めて年始の電話が一本。

誰あろう、桜田門株式会社多治見支店の御用聞き、平たくいえば警
狗一匹。……警狗君曰く「実はちよつとお聞きしたいの
ですが、31日の夜、岐阜市と高山市の二カ所で天皇を批判するビラ

が撒かれまして、誰が撒いたのか御存知ないですか」と。和尚、応
えて曰く「バカこくてねえ、その頃は和尚、大掃除の真最中である
からにして、そんなモノ撒ける訳がねえ」と。「いや、あなたが
撒いたとは思っていません。ただ誰が……」「知る訳ねえだろう」

「では誰が作ったのか……」「アホめかせ、そんなこと俺が知って
いたところでいう訳ないだろう。第一それがどんな罪になる犯罪
行為なんだ」「道交法の軽犯罪で」「それなら、立小便と同じだろ
う。それでも犯人を挙げてバクというなら、酔っぱらいの立小便
現行犯でも逮捕すればよろしかろう」。などと、まずはこれが和尚
の喧嘩始めというところ。実はこのビラ、大晦日の夜、和尚も見て
おるのだ。場所は新宿駅のトイレの中と、やはり明治神宮のトイレ

の便器にも同様のビラがあった。勿論、内容を一言一句、正確に覚
えてはいないが「天皇ハ日本国ノ象徴ニシテ晨謨留ノ意ナレドモ役
ニ立ツベキモノニ非ズ」「子々孫々疑ウベキニ非ズ」「衆朕」と書
いてあったように覚えてゐる。その横には天皇の写真が刷りこまれ
ており、用を足す人は小便でドロドロに汚れた「御真影」にまたぞ
ろ引っかけるといった具合。一昔前なら、ブラカード事件以上に問
題となり、戦前なら不敬罪で懲役五年に処せられるところだろう。
和尚とて都内で二カ所を見たのだから、おそらく全国にバラ撒かれ
たものだろう。誰の悪戯か、和尚の知るところではないが、正月返
上の大捜査。呆れて和尚も言葉なし。(遺言二頁)

126頁上段へつづく

▼註 25頁(註 29)「大同行動」について(多治見)

註

②4 ヤミ、ガサのとたん「アソビ」の踏み絵が、「本物」の踏
み絵になった。それまでは多分にアイマイな「オモシロ半分」ガ
サのおアソビ気分だったが、ビラをまくにも胸はドキドキ、冷
汗タラタラ? (とてもいいものビラまきどころか)、身の行末
を考へての置手紙、まくかまかぬか一思案一あつと気付くと気
付かぬとナントヤ一番目の主人公が自分自身で、それこそ踏
み絵の前に立たされてたのである。

いやはや、つまり聖賢あらたかへガサ大明神へのオハライを
うけた瞬間、へハロ「デイビラ」が「アリガタイ御名御聖付き
へ踏み絵のオフダ」になつたというわけで、さしてさてそこか
らはじまつた思想、信條、地位、立場、人さまたまなへ踏み
絵の種々相の展開は、ガサがあつたからこのことである。
1(その一端が、例えば「社会タイムズ」で三号ついていた投書「
だん天皇に於ては口を閉じて語つたことのない人達が思はず登場して」「踏み
絵連続論争」の投書である。)(27頁、28頁参照)
②5 もつとも、エエことあれば、都合のわるいこともでてくる
のは多少は仕方がない。

事後の報告をきいてみると、「お宝玉」から半日一日おく
れて着いた、ガサの「緊急報告」(50頁参照)を見ても、とも
く「大同行動」を見合せて読者も何割かはあつた。その意味で
は大西府が意図した「予防弾圧」にちよつぴりなつたかもしれ
ない。

それともうひとつ(あなたがちマイナスとは云えないが)、何
しろ立てつけの「速報」で「ガサ弾圧」を大宣伝したせい

註

—あつて、各紙誌の記事の真実が「ガサ入れ」の報道論評におかれて、本命の「共同行動」の方は、いささか影がつすれた—ということもある。

がいずれにしても差引、大もうけは間違いない。

26

ちよと脱線して、前二回のガサの話—いずれも、こちらから仕掛けだ？（つまりトバツキでよいものだった）が、マスコミが全面以上にやべ〜とあげてくれて（憂慮者何百何千のモウケだった）。

●ガサの一回目は昨年11月、天皇即位50年記念とやらに際して、松平や川柳入りの天皇即位ミニスタック18種約3万枚をつくった。（このパンフの表紙となっているのは、その時のもの）この送付は国内だけでなく海外まで及び、例えはホンコンでは日本領事館入口、日本商社のウインドウに貼られたりしたので、たまたま日本赤軍と関係づけられて日本小学校校舎校中止、進行場閉鎖という大騒ぎが起った。

このときのガサの名目は、氏名不詳者の「緊犯罪法違反と建造物不法侵入罪の共謀共犯」。（氏名不詳者が挙がらず、不起訴・時効）

●二回目は、81年11月、その年値上げて、史上最高、24億円の決算収益をあげた関西電力が、払い戻さず原裝つくりの力を入れるというのを告発の目めれじうを作製（表面は二万枚、裏は10万枚が地弾太ふんで口惜しが、これという戯文の約3万枚を大阪駅前ビルから配布（このときはマスキに配布を予告して真入りの大ニュースとなつた）。ガサの名目は、紙幣有価証券を弄損造罪。（これも印刷所が挙がらず、起訴されないまま84年11月時効）



27

さて、ガサに対する反撃の宣伝戦争は、昨日はじまった。

一、12月27日夜放送、〈緊急速報〉—ビラ配布先全部へ。
二、12月28日、〈抗議〉—府警、地裁令、抗部裁判官あて。
そのコピーは記者会見用。（記者会見できず、ビラその他とあわせ、各社ボックスへ投入。）

三、12月29日、ハイオム通信29号／発行・発送、約八百。

四、12月30日、〈御名御堂クワブニュース1号〉発行、

〈進抗告申立書要旨〉作成—右に同封発送。
五、12月31日、〈進抗告申立書〉正式提出。

—とならぶると簡単だが、みんなが集ってきて夕のし会議もやるし、電話は鳴りつづける中、目がまわる忙しさだった。

28

ついでに一月になつてからは—

一、1月6日、ハイオム通信28号／発送、約八百

二、1月10日、〈御名御堂倶楽部ニュース2号〉発送。

（これ以後は、全国から未知数知の協力者の力も加つて、マスコミは全く黙殺したにもかゝらず、新誌「ニコミ」が続々報道してくれることになる）

三、2月25日、ハイオム通信29号／発送

四、3月7日、〈進抗告決定書〉受領、思ひやめ大勝利。

五、3月8日、〈進抗告決定書〉自／発送。「記者会見」15社参加。文・朝刊、テレビで大きく報道。

六、3月12日、とりに来いといつていた大阪府警、押収物全部をそろそろ返却に来る。

七、3月18日、ハイオム通信29号／発送
八、3月25日、〈最高裁宛・特別抗告〉提出。……

共同行動について

(29)

「共同行動」のやり方は、ハイオム路へオ三信へオ四信へでかいていることだけで、それ以外には何もないうつまり、(一)、ビラは手渡すのではなく、たゞバサバサ路上へ落として廻るのだということ。(二)、行動日時は2月31日午後10時以降を前中、(本命は翌一月一日正午までの間として)、一月三日まで、やむない時は3日以後でもかまわないの二つだけ。

しかし「ビラ」を、人ごみにまぎれて、或はまるつきり人目のないところで、そつと捨ててあるくというのは、何とも前代未聞、誰も経験したことのないことで、多少の抵抗をみくも感じたらしい。

配りにという衝動をとめるのに苦勞したとか、捨ててしまうのが勿体なくてという感想が何人かから来た。(このことを、もう少し追及すると、踏み論になつてしまふので、このことだけに留めておく)

(30) 「ビラ」は、参加申込者には最低の五百枚(追加申込が26日迄にあった人にはその希望数)を送った最初の感で五百枚は、多いナ、ということだつたらしいが、いが、捨ててまわると、五百枚はほんのアツというまになくなつて、ほとんどの人がブツケなくモノタリナかつたようだ。それに加えて、

すぐ立去つて踏み絵の現場に居合わせないこと、マスコミ等が全く黙殺したことなどで、「共同行動」としてビラを落とすことが、何やら一そう心許ないものと感じた人があつたかもしれない。その充足の意味で、全国新年入踏み絵へ参加公南は同様の案曲のものも数多いとわづろ扱した。(電話等の報告が相当量あるがその分は省略)

(31) 今後の参考のため、ビラを落とし易かつた場所をあげると神社、お寺の拝殿前、警銭箱、境内通路、参道。駅前公場、出札所前、地下通路、階段、ホーム、待合室。バス停、ベンチ。陸橋横断道路。デパート屋上、階段、便所。商店街アーケード。映画館内、座席、看板の前。電話ボックス、電話帳。公園。公衆便所。空港送迎デッキ。路上駐車している車の下。植と垣根。など。

また方として、乗物を利用しての、「車」コオートバイ「白転車」を走らせながら一と、走行中の列車、電車の窓から、踏み切りなどのたびに「など」が特色がある。又正月まけなくて、小正月、二月十一日、四月二十九日にしたというのもあつた。

(32) たゞ一例だけだが、この「共同行動」に対する警察側の動きについて、多治見署の来訪を報じたものを23頁上巻にのせた。高山市岐阜市で落されたビラのことが多治見にまでいっていることは果警本部がうごいていてということである。とすればこれは岐阜果警だけでなく、国警本部の指示下に全国の警察が動いた一と容易に推定できることであり、更にその上層部にも報告がいつているものとみてまちがいない。一昨頁上段へー

註



⑤ 〈踏み絵〉—あなたに対して—

もちろん戦前にこんなオフダつくつたりしたら、たちまち不敬罪／＼らしいことは幾らばくでも充分知っている。当時なら考えるだけでもオソロシイ、とんでもないこと。

が、戦後は民主主義とか云われて、ホメようがクサそうが同じの—言論思想の自由。軍馬軍服いかめしい大元師ヘイカも、セビロを着た猫背のやさしいおじいさま。(朕もチンあるたよのひと—ナアンちゃって)...

で、敗戦後10年目—(位なら、ま、こんなモノ何ともなしのフウン位で無視したかも) —20年目(ではホウちよとヤルなぐらいでやはりそのまゝ) —30年目:そして40年目では...。戦後と今と「刑法」が変わったというわけではない。世の中いよいよ豊か、ますます平和の明るい日本。天皇サンは象徴で、決して昔みたいなコワイことアラヘン—とは、(サア、ホンマはどうやるか?と内心で時々思うことがあっても)どこかで信じてる? その—あいまいで好い加減なところへ、ひょっこり出てきたのが、この〈踏み絵〉!とたんに「不敬罪ではないゾヨ、御名御聖偽造!」とは云うものの.....。

つまりオフダはリトマス試験紙で、「あそび液」にちょっと浸したら、たちまち真っ赤

なこじつけの、御名御聖が浮び出て、その魂胆がミエミエや。

それに、不敬サンが何よりも〈踏み絵第一号〉になつてくれはったオカゲで、まるでライトを当てたように、誰にも彼にもすっかりはつきりした〈踏み絵〉の意味。—という以上、にアツと気付くと、もう〈踏み絵あそび〉が、いまたけなわとばかりはじまっていたのである。

つまりまず第一に—ガサの令状を出した裁判官やハセカッチャんたち、権力側にとつての踏み絵。第二はオフダつくりの張本人のぼく、小包やイオム通信を受とつたへあんたやへこんた—に—自分の判断を迫る、二ど三

どの踏み絵。第三はいりまでもなく、ガサの報道をしなかつたマスコミさんたち、否応なしの踏み絵。そして第四は—「ホウそんなことがあったんか」ちらつとながめて、それから一体どう考えたか、気付く気付かぬにか、わらずそれそのことがやっぱり踏んでることになる—世の中全体の動きの—踏み絵。

いやあ、それにしてもこんなオモシロあそびは、一生に一度出来るか出来へんか。ひょっとして前代未聞!—と、タノシンでばかりはおられへんのが、踏み絵が示す「シヨウワ60年」の吉凶禍福でないやろか。

▼註 39頁(註33)~41頁(註39)、「踏み絵」その意味、参照

